

日時：平成26年10月16日（木）10:00～12:00

場所：坂の上の雲ミュージアム 3階会議室

出席者：敬称略

- ・愛媛大学防災情報研究センター 教授（副会長）／新階 寛恭
- ・愛媛大学教育学部 教授／千代田 憲子
- ・(株)伊予鉄会館 企画調整部 課長／石山 有一
- ・(株)愛媛銀行 大街道支店 支店長／義野 慎也
- ・(株)ファースト 代表取締役／日野 二郎
- ・森ビル都市企画(株) 開発企画1部リーダー／山崎 隆嗣
- ・松山大街道商店街振興組合 副理事長／熊本 順
- ・松山ロープウェー商店街振興組合 理事長／越智 秀二
- ・松山ロープウェー中央商店街振興組合 理事長／松浦 吉隆
- ・(株)まちづくり松山 代表取締役／加戸 慎太郎（代理出席：阿部執行役員）
- ・松山市障害者団体連絡協議会 会長／武智 幸男
- ・松山市高齢クラブ連合会 副会長／森 昭二
- ・特定非営利法人子育てネットワークえひめ 副代表／谷岡 加寿美
- ・国土交通省松山河川国道事務所 所長／荒瀬 美和
- ・愛媛県警察本部交通部交通規制課 課長／稻荷 聖二
- ・松山東警察署長／藤田 聡彦（代理出席：玉田交通第1課課長）
- ・事務局／松山市都市デザイン課

## 1. 開会

## 2. 挨拶

【柳原開発・建築担当部長あいさつ】

## 3. 委員紹介

【事務局から委員を紹介】

## 4. 議事

(1) 「いちばん舞台」の景観整備計画（案）について

【事務局説明】

第二回専門部会の協議事項の確認。いちばん舞台の各仕様（舗装・ベンチ・照明・樹木）についてデザイン案の説明、決定根拠の説明を行った。その後、歩道舗装一般部の実際の石材サンプルを出席者全員で確認を行った。

【舗装サンプル確認】

石材サンプル確認後、議論を行った。

### 【主な意見】

- ・ A委員  
大街道付近の現状桜御影石が経年変化でグレー色が強く見えている。計画案は錆色の方が多い配色でよいと感じる。錆色と言うが明るい茶系の暖色系の色である。明るい彩度の落ちたシックなイメージである。舞台部との兼ね合いを考えても、桜色が多いと舞台部が浮き上がって見える可能性がある。一方で、松山が一番松山らしい時期は桜の咲く春の時期と感じる。桜の色味も大事にしていきたい。50:50だと落ち着かないどっちつかずの印象になる。  
シンボルツリーの樹種については、松山との関連性や当該場所の生育環境を考慮すると、資料で挙げられた中から絞るのがよい。薄い柔らかい桜の色もよいと思うのでサクラの品種もよい。一方、花びらや虫の問題もあるが、多くの品種があるため、開花の時期も考慮して検討して頂きたい。城山まつりの時期に合わせる事が出来ればよいと思う。  
照明柱については、コンセプトについては全体提案の中でも合っている。スリムで優美さがあり、よいと思う。ただし、もう少し柔らかい形のほうが、ロープウェイ通りシンボル柱との対比の面ではよいのではないかと。  
ベンチについては、可動性や地元材などが考慮され、シンプルで使い勝手のよいものになっており、とてもよいと感じている。
- ・ B委員  
非常に明るく安心安全な計画となっている。当初計画と異なり、交差点内部の色が変更されているが、落ち着きもあり面白い。一番町の入り口が松山の中心であり、本案に対してとてもよい印象を持っている。
- ・ C委員  
本計画・本案については、中心市街地の活性化につながり、大賛成である。
- ・ D委員  
細かいところまで配慮され考えられている。懸念していたのは、路面のすべりやすさや壊れやすいもの、食べ物の落下による色の染み方など。後々のメンテナンスについて懸念している。
- ・ E委員  
現在の歩道舗装よりも明るくなり、点字ブロックも見やすくなり歩きやすくなるのではないかと思う。エスコートゾーンも現状通りとしていただきたい。
- ・ 事務局  
現状の一番町交差点にエスコートゾーンは無いが、ご趣旨を伺いたい。
- ・ F委員  
南北の移動を安全に行われるような計画の視点を望んでいる。
- ・ G委員  
ロープウェイ街としては、観光バスなどが下りる場所の確保、車道舗装の再舗装をお願いしたい。

- ・ H委員 引き続き検討が必要な課題である。
- ・ I委員 イメージパースがあり、分かりやすい。綺麗な整備となり、一番町がより人が集まる場所になると思う。非常によい案であり、賛成である。
- ・ J委員 非常に素晴らしい案である。第二回専門部会において、ロープウェイ通りは暖かみのある色、大街道は白っぽい色という意見に感心した。愛媛銀行の建物も築 20 年がたつが、改修時にはロープウェイ通り商店街に位置することを踏まえ、暖かみのある色に沿って考えたい。人が集まるということで観光客の利用も多い、松山の顔になるような接客おもてなしを行っていききたい。
- ・ K委員 新栄座の色が入っており感心した。  
ガムが商店街のやっかいものであるが、石張り舗装は現状の路面と比べてメンテナンス性が気になる。  
イベント用電源については路面設置とのことだが、柱の改修時に柱に設置したいと考えている。路面はなるべくすっきりとさせたい。
- ・ L委員 一番町の玄関口が明るいイメージとなり、歓迎している。我々の敷地一部分も協力し路面デザインと合わせる計画である。テナントも固まりつつある中で、テナントへの誘導ラインなどの提案もしたいと考えている。道後のイメージが踏襲され街なかにも同じデザインコードが反映されている点がよいと感じている。  
敷地内も錆御影の割合が多い方が好ましいと考えている。社内も大判の石材を使って整備する方がよいのではないかという声が多い。
- ・ M委員 ロープウェイ通りと車道の色を合わせるとのことであるが、いちばん舞台のエリアが明確に出ないのではないか。ロープウェイ通りと舞台内の車道の色を変えてもよいのではないか。  
歩道舗装境界部分の縁石についても、ロープウェイ通り側との境界部にいれるなどしてもよい。  
点字ブロックについては、歩車道境界にならって斜めに配置しているが、すっきりとさせた直線の形でもよいのではないか。  
植栽帯下のイベント用電源については躓く人が出ると予想されるので、工夫したほうが良い。  
照明柱のデザインについて、最下部のサイズについては構造的な検討が必要である。  
定式幕の色についてはあまり色で勝負しないほうがよいのではないか。
- ・ N委員 現在の横断歩道と点字ブロックとのずれについては、今回の整備において整えて頂きたい。点字ブロックの位置については関係者機関で個別協議をしていきたい。  
いよてつ会館前の歩車道境界については歩道を広くとる形としているが、交差点のコ

ンパクト化につながるため、利便性・安全性が高くなる。

森ビル前の現況点字ブロックが工事のためにクランクしていると理解しているが、整備後の点字ブロックの位置については、森ビルの車道側には電線共同溝があるため、その離隔を取りながら適切な位置にまっすぐと設置していただきたい。

イベント用電源については、突出物となる場合は柵が必要になるのではないか。他の場所の設置を工夫すべきである。

ベンチについては、ワイヤーがベンチ下から出るのであれば転倒の要因になるため注意されたい。

歩行者専用の標識については森ビル柱の横（舗装切り替え位置）に設置することを検討している。その位置が交差点と大街道の境界部と認識している。アーケード後退に伴う、道路使用許可の範囲については、標識より大街道側については歩行者専用という規制になるため、大街道側部分を従来のアーケードの原則に則り道路使用許可の運用をこれまで同一としたいと考えている。

照明柱については最下部のサイズを構造的に持つかどうか疑問である。再検討されたい。

- ・ O委員 標識について、警察が計画している位置は商業施設の顔・メイン動線になる部分である。位置や設置方法を工夫し目立たなくするように出来たらと思う。
- ・ P委員 標識は目立たなくてはいけない。標識の設置位置が規制の始点になる。なるべく標識柱に人があたらぬように考えたい。民間の建物から標識を出すことも全国的に事例はあるが、愛媛県で民間の建物から共架している事例はない。ただし検討は出来る。
- ・ Q委員 自転車の通行範囲について、信号待ちの歩行者と自転車との接触事故が多い。歩道部分も走行禁止の話をしていく必要があると感じている。隅切り部分も走行可能となると、事故につながるのではないか。スクランブル交差点における自転車走行方法については問題提起をしているが、解決につながっていない。隅切り部分を含めて歩行者専用の規制が必要と感じている。
- ・ R委員 自転車通行可の歩道については、「原則自転車は車道走行だが、歩道を通行することが可能である。ただし歩行者の安全を優先しなければならない」というルールである。そのため現在の国道部分においても、事故過失の原因者は自転車側ということになっている。また隅切り部分も含めての規制ということについて、国道側と隅切り部分の舗装が同一のため、舗装の切り替えで明示されていない限りは交通規制を区分することが出来ない。
- ・ S委員 スクランブル交差点について、歩行者と自転車の共存のルールが分かりにくく、問題になっているという理解である。
- ・ T委員 可能であれば、タクシープールやバスバースなども合わせて一体的な自転車走行ルー

ルの検討が必要である。

- ・事務局 いよてつ会館前の交差点部歩道を広げている。県庁側からロープウェイ側へのバスが通っているが、軌跡上問題ないことを確認している。
- ・U委員 ロープウェイ通りの歩車道境界を延長して計画すれば、もう少し歩道を広げることは出来ないか。
- ・事務局 現在の計画図より歩道を広げようとする、バスが右側車線に一度入らないと曲がれなくなってしまう。
- ・V委員 点字ブロックの位置や形状については、関係者を集めて検討ということに賛成である。市駅前などでは歩道点字ブロック部分と車道部分の勾配差がきつい場所がある。車いすの方が転倒した事例もあった。位置だけではなく勾配も考慮していただきたい。
- ・W委員 過去の整備では縁石をマウントアップとし、車道と歩道の高低差が大きく、勾配差が大きくなっている。いちばん舞台周辺はセミフラット形式で5センチとしている。三越前についてはタクシープールの存在もあり歩道の横断勾配がきつく、車いす利用者が通りづらいという苦情も聞いている。出来る限り改善はしているが、再整備が難しい事例や場所もある。
- ・X委員 照明柱のディテールや樹木については、地元意見も含めて事務局として学識者を交えて検討とし、大きな方向性としてこれでよいか。よいとのことなのでこれで進めていく。

## (2)「アーケードのデザイン検討」について

### 【事務局説明】

松山大街道商店街振興組合と森ビルが参加するアーケード委員会を構成し、そこで議論している。商店街振興組合より説明していただく。

### 【主な意見】

- ・Y委員 3案とも絞り込まれているが、どの案も「大街道」というロゴが同じ位置で同じ書体で入っている。ロゴの位置や書体などは今後詰めていくのか。
- ・Z委員 今後のアーケード委員会にて詰める予定である。
- ・a委員 前回検討資料を引用しているが、アーケードの仮設物設置イメージにグリーンカーテンがある。それについては恐らく道路使用許可が下りないと予想されるため、このイメージは使用しない方がよい。

(3)「今後の進め方」について

**【事務局説明】**

今後の交差点全体の計画にむけて、イメージ写真や景観整備方法の事例を紹介する。また今後のスケジュールについて説明した。

**【主な意見】**

- ・ b 委員      イメージ写真について注意点を述べたい。公開空地部分で歩道と色が分かれている。民地と官地の責任範囲を明確にするためにこのように整理されている。ソニービルのイベント事例については、歩道に対して音や光を出し人を集める場合は道路使用許可の対象になる。その場合は歩行者が通れる幅員が無い場合は許可が下りないので注意されたい。
  
- ・ 事務局      第四回専門部会については年明けの開催を予定している。引き続きご協力をお願いしたい。

**5. 閉会**